

# Monthly News

No.149

## 近畿部会第156回例会

### ■テーマ

# 劣化の進む近現代の紙資料 —コピー紙・ガラスペン・わら半紙—

### ■とき

令和2年(2020)3月8日(日曜日)

午後1時00分～午後4時30分

### ■ところ

京都造形芸術大学 直心館 (京都市左京区北白川瓜生山2-116)

■地下鉄北大路駅(バスターミナル)  
より市バス204系統循環・銀閣寺方面「上終町京都造形芸大前」下車(所要時間約15分)

■京阪出町柳駅より

①市バス上終町3系統・上終町京都造形芸大前行「上終町京都造形芸大前」下車(所要時間約15分)

②叡山電車(京阪出町柳駅乗りかえ)茶山駅下車、徒歩約10分

### ■講師

大林賢太郎氏

(京都造形芸術大学教授)

### ■内容

全史料協近畿部会では、歴史資料保存利用機関で働く会員を中心に、実践に向けたワークショップを2016年より継続して開催しています(2019年は休講)。ワークショップでは、現場の技術向上につながるよう、さまざまな種類の歴史資料素材について基礎的な知識とともに、保存・修復方法をお伝えしてきました。今回はその第4弾として、近現代の行政文書などに用いられている紙資料の素材や筆記用具などにスポットをあてます。

近現代の行政文書は、現在、長期保存が可能となる仕組みは確立していません。そして、安易な脱酸処理はかえって紙資料の劣化を招くおそれもあります。このワークショップを通じて、近現代の紙資料がどのような原材料により構成されているのか、筆記用具などとともに検証していきます。

■定員 20人

■参加費 会員 無料 (非会員 500円 ※材料費)

### ■お申し込み方法

事前お申し込みが必要です。参加フォーム(<https://ws.formzu.net/fgen/S21487112/>)よりお申し込みいただくか、事務局までメール([jsai@archives.city.amagasaki.hyogo.jp](mailto:jsai@archives.city.amagasaki.hyogo.jp))にてお申し込みください。

### ■お申し込み締切 令和2年2月29日(土曜日)まで

※ 応募者多数の場合は抽選となります。ご了承ください。参加の可否は、メールでお知らせしますので、メールの指定受信・拒否設定のご確認をお願いします。メールで連絡のない場合は、お手数ですが、事務局までご確認ください。

### ■主催 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会近畿部会

